



平成 20 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 シグマ光機株式会社
代表者の氏名 代表取締役社長 森 吟二
(J A S D A Q ・ コード番号 : 7713)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 菊池 健夫
(T E L 03-5638-8221)

平成 21 年 5 月期第 2 四半期累計期間 (連結・個別) 及び
通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 7 月 11 日に公表いたしました平成 21 年 5 月期 (平成 20 年 6 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日) の業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 5 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正
(平成 20 年 6 月 1 日～平成 20 年 11 月 30 日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	4,000	420	470	120
今回修正予想(B)	3,664	320	404	127
増減額(B-A)	△335	△99	△65	7
増減率	△8.4%	△23.8%	△14.0%	6.6%
前期(平成20年5月期中間期)実績	3,861	501	540	315

(2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	3,730	360	420	80
今回修正予想(B)	3,411	247	321	69
増減額(B-A)	△318	△112	△98	△10
増減率	△8.5%	△31.1%	△23.5%	△12.9%
前期(平成20年5月期中間期)実績	3,545	391	452	269

2. 平成 21 年 5 月期通期業績予想数値の修正(平成 20 年 6 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,380	1,050	1,160	510
今回修正予想(B)	6,860	290	460	140
増減額(B-A)	△1,520	△760	△700	△370
増減率	△18.1%	△72.4%	△60.3%	△72.5%
前期(平成 20 年 5 月期)実績	8,055	1,205	1,318	727

(2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	7,800	940	1,080	470
今回修正予想(B)	6,450	220	420	120
増減額(B-A)	△1,350	△720	△660	△350
増減率	△17.3%	△76.6%	△61.1%	△74.5%
前期(平成 20 年 5 月期)実績	7,421	962	1,142	605

3. 修正理由

(1) 第 2 四半期累計期間業績予想値の修正について

急速な世界的景気後退による設備投資の縮小・延期の動きを受け当社グループを取り巻く事業環境は 10 月下旬以降、非常に厳しくなっておりまいた。このような事業環境の中、売上高につきましては、要素部品事業において、バイオ業界向けの自動精密位置決め装置は計画を若干下回った程度でしたが、半導体業界向けの手動位置決め製品、及び液晶業界向けの加工機組込み用光学素子では受注停滞により計画を下回りました。システム製品事業においてはレーザプロセッシングシステムの受注停滞が見られますが、前期の受注残もあり計画を若干下回りました。

その結果、全体的に当初予想を下回る見込みです。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の落ち込みの影響に加え、在庫評価の見直し実施により評価損を計上したことなどにより、当初予想を下回る見込みです。

当期純利益につきましては、退職給付債務の計算方法変更に伴う特別損失を 2 億 5 千万円と予想しておりましたが、外部委託者による計算相違があり 1 億 2 千 6 百万円にとどまりましたので、大きな差異は生じておりません。

(2) 通期業績予想値の修正について

当社グループを取り巻く事業環境は、米国のサブプライム住宅ローン問題に起因する世界的な実体経済の急速な冷え込みにより、10 月下旬以降産業用向け受注が大きく減速しております。当社製品が使用される半導体・液晶業界の設備投資抑制の傾向が、来期中までは続くものと思われまいた。

研究開発用向け受注は、上期実績より安定した推移を見せており、ある程度水準が見込まれるものの、売上高につきましては、下期以降も景気後退が長期に亘ることを想定し、各セグメントにおいて大きく修正いたしまいた。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、売上高の落ち込みの影響を見込み修正いたしまいた。

なお、通期業績予想の修正における前提となる外国為替レートを、期初の 1 米ドル 105 円、1 人民元 15 円から 1 米ドル 95 円、1 人民元 14 円に変更しております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上